

地域産業の担い手育成プロジェクト（水産分野） 平成20～22年度

- ① 地域の実情にあった担い手づくり・・・沖合漁業、沿岸漁業の後継者育成
- ② 消費者に買ってもらえる商品づくり・・・島根県の水産物のブランド化
- ③ 水産資源の維持培養・・・「つくり育てる漁業」の推進

島根県

事業実施機関・・・島根県教育委員会、JFしまね

連携省庁・・・水産庁

取組校・・・島根県立隠岐水産高等学校、島根県立浜田水産高等学校

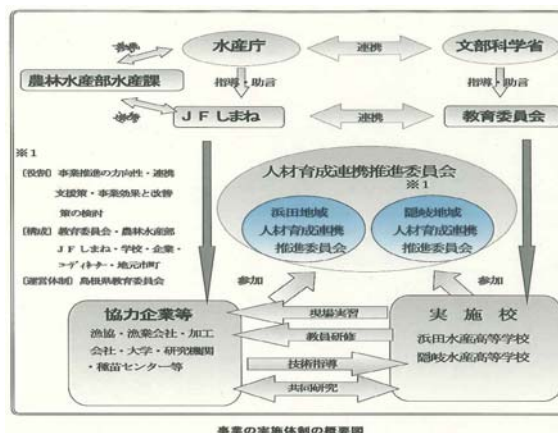
事業目標

- (1) 生徒の就業人数の増加・・・過去3年間の漁業・水産加工業の平均就職者数は10人前後であるが、本事業を契機として毎年15人程度就職させる。
- (2) 協同体制の確立・・・浜田・隠岐両地域人材育成連携推進委員会が地域の現状を踏まえた事業の展開に努め、水産高校と漁業・水産業界との連携を十分に図る。
- (3) 水産高校の情報発信力を高める・・・本事業で得られた成果については、文化祭でのイベント等（全国産業フェア、島根県物産館、島根県ふるさとフェアイン広島）に参加し情報発信に努める。

事業の概要

根県の漁業は、魚価の低迷、資源状況の悪化等により、多くの漁業種類において年々経営状況は悪化しており、就業者の年齢化、漁船の高船齢化等が進んでいる。

このため、産業界、教育委員会、水産高校、県が連携して職場実習、外部講師による実践的指導、企業との共同研究等の組み合わせ、本県水産業の課題に対応した専門教育を実施し、地元の漁業・水産加工業に即戦力として貢献できる人材を育成する。



事業内容と成果

《生徒の現場実習》

- 内容
 - ① 沖合漁業の座学・企業研修及び乗船実習・・・まき網漁業、小型底引き網漁業、定置網漁業の漁具・漁法について技術者から座学研修を受けた後、乗船実習を行う。
 - ② 沿岸漁業の座学・企業研修及び乗船実習・・・一本釣漁業の漁具・漁法について技術者から座学研修を受けた後、乗船実習を行う。
 - ③ 貝類を中心とした養殖技術の習得・・・ワカメ、イワガキ、アワビなどについて種苗生産から出荷までの養殖技術を習得する。
 - ④ 水産加工会社での職場実習・・・島根県の水産物のブランド化や高品質化を図るべく地域の特産物を使って新製品の開発を行う。

- 成果
 - ① 水産加工会社で長期職場実習を体験した生徒は、ほとんどが地元の水産会社へ就職した。
 - ② 社会人としての礼儀・作法の大切さを感じ、コミュニケーション能力や協調性が身に付いた。
 - ③ 実習の受け入れについては、年度を追うごとに企業数が増加した。
 - ④ 生徒が職業や仕事の内容への理解が深まり、働く意欲や情熱の向上が意欲が向上した。



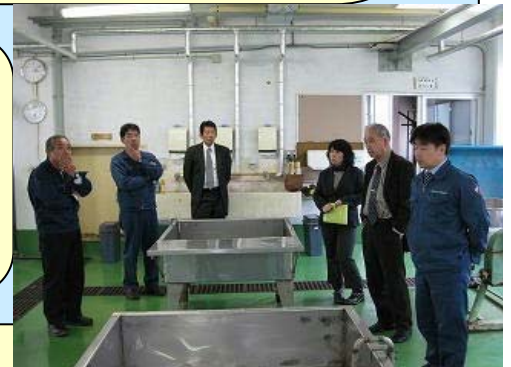
《技術者等による学校での実践的指導》

- 内容 ①機関の分解・整備・組み立て技術指導
機関メーカー及び造船所の技術者から学校で講義を受講、専門的な技術指導は企業で実施した。
 - ②漁場造成の効果検証
水産技術センターの職員から魚礁等についての講義を受講、実習では水中カメラ、魚群探知機等を利用し、魚類の繁殖状況を調査した。
 - ③トレーサビリティシステムの企業連携による商品開発
県が開発した近赤外線による脂質含有検査手法について実習し、その後、県特産の漁獲物であるアジ、ノドグロを利用して脂質含有量を測定した干物を製造するとともに、脂質含有量、漁獲時期、生産者等を明記したラベル開発を行った。
- 成果 ①学校の座学では体験できないことが、実際に設備が整っている企業で研修が受講でき専門的な知識・技術の習得への興味付けができた。
 - ②QRコード付きのラベルを開発し、全国初のトレーサビリティシステムの運営を行い、食の安全・安心を確保できる商品開発を行うことができた。



《教員の高度技術習得研修》

- 内容 ①電気溶接の技術習得
普通溶接からアルミ溶接等特殊溶接までの技術を習得
 - ②HACCPの導入に関する実践的指導講習
メーカーの技術者からHACCPの基礎になる危害分析ワークシート・製造工程一覧図、SSOP管理表の作成方法を学ぶ。
- 成果 ①最先端の技術を習得したことで、教員の知識や技能が向上した。



《共同研究・その他の取組》

- 内容 ①磯焼け調査
今までにほとんど実施されてこなかった隠岐の島周辺海域をシュノーケリングによる目視調査を行い、磯焼け、海藻密生、海藻疎生の3つの景観区に分類しマップを作成した。
 - ②未利用資源を有効利用した商品開発
浜田市のブランド魚であるノドグロの煮付けの味を日本全国に広めるために未利用魚（小さすぎて売れないもの）を利用し、試行錯誤しながらノドグロふりかけを製造した。
 - ③イカ塩辛フリーズドライ（FD）の商品開発
浜田水産高校名物「イカの塩辛」に着目し、毎年、文化祭で大人気の地元で認知度の高いこの商品を新しいスタイルにしてリメイクした新製品の完成を目指した。
 - ④研究成果発表会
両校とも研修や研究成果の発表会を設け、全校生徒による発表会を行った。この発表会には、地元の水産関係者、教育関係者、保護者等にも広く案内し、水産高校の取り組みの状況を理解していただいた。
- 成果 ①磯焼け調査は、これまでに例を見ない大規模な調査で、藻場造成を主体とした沿岸の環境保全事業（水産庁）につながるものと高い評価を受け自然環境功労者環境大臣表彰された。
 - ②ノドグロふりかけは地元はもとより県外の空港や高速道路のパーキングエリアなどでも販売され、10万本を超えるメガヒット商品となり、地域経済の活性化、浜田市のPRに貢献。
 - ③成果発表会等では、実践発表の体験を通して表現力等の育成につながった。



連絡先 ◇島根県教育委員会高校教育課
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL : 0852-22-5410 FAX : 0852-22-5762 URL : koukou@pref.shimane.lg.jp

◇漁業協同組合JFしまね
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地
TEL : 0852-21-0001 FAX : 0852-27-6130 URL : shidou@if-shimane.or.jp